

樹木の花は、高い位置であったり目立たなかったりして気が付かないことが多いですが、咲いている姿を見ると可愛らしいものです。

今回は、そんな樹木の花を紹介してみましよう。

ブナ(ブナ科ブナ属)の花



花が咲いても、実になるのは7年に1回程度。20年も実がつかない地域があるようです。

キハダ(ミカン科キハダ属)のつぼみ



雌雄異株。花は小さく目立たないようです。

アオキ(ミズキ科アオキ属)の雄花



雄しべがいいアクセントできれいです。

ハウチワカエデ(カエデ科カエデ属)の花



カエデの仲間は、旺盛に花を咲かせて羽根つきの実をつけます。

ハナイカダ(ミズキ科ハナイカダ属)の花



葉っぱの上に咲く不思議な花。若葉は、おひたしや天ぷらに。

キブシ(キブシ科キブシ属)の花



天ぷらで美味しい。

アブラチャン(クスノキ科クロモジ属)の花



春先の山を最初に彩ってくれる可憐な花です。

オオバクロモジ(クスノキ科クロモジ属)の雄花

雌花より後に咲いている気がします。



コブシ(モクレン科モクレン属)の花



花の付け根に葉が無ければ、タムシバです。

イタヤカエデ(カエデ科カエデ属)の花



黄色い花がたくさん。

ホオノキ(モクレン科モクレン属)の花



袋果は、ハーブティーのようなお茶で美味しい。

ユキツバキ(ツバキ科ツバキ属)の花



小さくとも50年生
だったりします。。

いかがでしたか？

ご覧になったことのある花、初めて知った花、見てみたくなった花、見過ごしてしまっていた花、いろいろあったでしょう。これから山へ出かけるときは、木に注目しながら歩くと新しい発見があるかも。

次号予告

『おたりハローウッド事業始まる！』